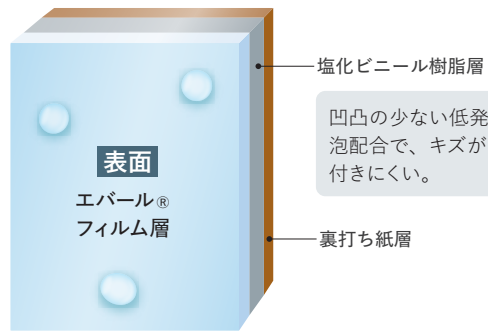


汚れが拭き取りやすく、特にキズにとっても強い

エパール®フィルムラミネートで汚れやキズを抑えます。
凹凸の少ない低発泡ビニール樹脂層によりキズが付きにくい。
抗菌性により細菌の増殖を抑制します。

構造図



表面のエパール®フィルムが汚れや水分の浸透を抑え、拭き取りやすくします。
キズも付きにくく、長くきれいを保ちます。



■ 汚れ防止性能試験

4種類の汚染物を規定通りに商品に付着させて汚し、24時間放置する。

汚染物

【コーヒー、醤油、クレヨン、水性サインペン】

24時間後、指定の除去剤で汚染物を拭き取る。
さらに1時間置き、汚れの付着度合いを目視で判定する。

汚染物	除去剤	汚れ防止壁紙	一般壁紙
コーヒー	水	5級	3～4級
醤油	水	5級	3～4級
クレヨン	中性洗剤	4～5級	3～4級
水性サインペン	中性洗剤	4～5級	3～4級

[判定基準] 3級：やや汚れが残る
5級：汚れが残らない 2級：かなり汚れが残る
4級：ほとんど汚れが残らない 1級：汚れが濃く残る

■ 抗菌性能試験

試験菌液を抗菌剤加工壁紙、未加工壁紙それぞれに添加し、24時間放置後の生菌数を測定。
生菌数が「<0.63」の性能を有する商品に「抗菌」の表示ができます。

試験菌	試験開始時 生菌数	35°C環境下で24時間後の 生菌数	
		抗菌剤無添加	抗菌剤を添加
大腸菌	3.8 × 10 ⁵	2.1 × 10 ⁷	< 0.63
黄色ブドウ 球菌	2.3 × 10 ⁵	1.2 × 10 ⁵	< 0.63

※各種試験は壁紙工業会制定の性能規定に準拠しています。

■ 表面強化性能試験

JIS-0849で規定する
摩擦試験機Ⅱ形を用い、
所定の摩擦子（荷重200g）
を取り付け試験片の上を5往復させ、
その傷付き程度を目視で判定する。



等級	判定基準
5級	一見視で特に変化が見られない。
4級	多少表面傷が見られるが、比較的大きな表面層の剥がれ等が見られない。
3級	表面層の破れが明確に見える。
2級	表面が破けて紙等の裏打ち材が明らかに見える。（長さ1cm未満）
1級	表面が破けて紙等の裏打ち材が明らかに見える。（長さ1cm以上）

■ スーパーハード比較 表面強化試験 （ルノン自社基準）

壁紙工業会規定の「表面強化試験」を用い、摩擦子への荷重を2倍の400gにした状態で摩擦子を100往復以上行い、判定の4級以上に相当するものを「スーパーハード」とする。

品 種		性 能 (4級を下回った回数)
①	ルノンスーパーハード壁紙	100回以上
②	抗菌・汚れ防止壁紙 (表面強化)	50回
③	撥水・表面強化壁紙 (低発泡品)	31回
④	一般的なビニール壁紙	1回

※試験結果は実測値であり、保証値ではありません。

！ 施工注意

特殊なフィルムを貼り合わせていることで一般ビニール壁紙と異なる施工方法を必要とします。
一般ビニール壁紙と比較して施工難易度が高いため、施工費が割増になる場合があります。

下地

モルタル下地のアクによる変色やフクレを防ぐため、必ずシーラー処理をお願いします。特に低温時にはフクレが起きやすいのでご注意ください。コーナー材は穴あきタイプを使用し、エチレン酢ビ系接着剤の捨て糊をするなどの処理をお願いします。

耐水ボード下地は吸水性が低く接着剤が浸透しにくいいため、特に貼り合わせ部に補強用接着剤の捨て糊をするなどして接着性を高めてください。

接着剤

接着剤は濃い目のもの（6～7割希釈）を使用し、特に低温時は、補強用接着剤を併用してください。

オープンタイム

糊付け後はシワに注意して大きいたたみ、折りシワが付かないよう上積みは避けてください。糊付け後、20～30分のオープンタイムをとってから施工をしてください。低温時はさらに長めにとることでフクレを抑えます。ただし長くとりすぎると折れシワの原因になりますのでご注意ください。

圧着（貼りつけ）

水分やエアが抜けにくく、フクレが起きやすいため、丁寧に圧着し、エア抜きを十分に行ってください。

汚れ

施工後は、表面に付着した接着剤や汚れをしっかりと拭き取ってください。拭き残しは変色の原因になります。

その他

スーパーハードは材質が硬く凹凸の比較的小さいシート壁紙のため、下地処理はより平滑に行い、圧着は樹脂ヘラを使うなどしてより丁寧にエア抜きをしてください。

！ 汚れ防止壁紙は、一般ビニール壁紙と比較して施工難易度が若干高いため、施工費が割増しになる場合があります。

「スーパーハード汚れ防止壁紙」は材質が硬く凹凸の比較的小さい壁紙のため、下地処理はより平滑に行い、圧着は樹脂ヘラを使うなどしてより丁寧にエア抜きをしてください。